

JAISE: Japan Association for International Student Education

留学生教育学会

Newsletter 第 43 号 2014 年 5 月

事務局: 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-58-1 石山ビル 6 階

公益社団法人東京都専修学校各種学校協会内

TEL: 03-3378-9601 FAX: 03-3378-9625 E-mail: jaise@tsk.or.jp

[ホームページ <http://www.jaise.org>]

2014 年度最初のニュースをお届けします。第 19 回研究大会と J A I S E 奨励賞・功労賞の募集についてお知らせいたします。本年度も充実した活動を続けていきたいと思っております。会員の皆様へは、学会誌『留学生教育』へのご投稿、研究大会へのご参加をお願いいたします。

I. 巻頭言

会長 野水 勉 (名古屋大学)

新緑の季節となりましたが、多くの会員の皆様には、新学期が始まって新しい留学生の受入れや新入学生・新学年生への海外留学案内等、慌ただしい毎日を過ごされ、今ようやく一段落をされているかと思っております。

この 3 月で、東日本大震災から 3 年が経過し、被災された地元の方々には多くの悲しみを乗り越えながら、関係者皆様の大変な努力によって、少しずつ以前の活気に戻りつつあるかと思われまます。

今年 8 月の留学生教育学会・研究大会は、東北大学関係者が開催を引き受けていただき、「震災から新生へ：国際教育・交流で起こすイノベーション」という、とても印象深いテーマ設定をしていただきました。

東北大学をはじめ地域の留学生教育に関わる関係者や留学生の方々が、様々に震災・復興に関われ、多くの教訓を蓄積されているかと思っております。情報が届きにくい留学生を十分に配慮した防災対策や緊急対応の準備は、地震大国である日本に、留学生が引き続き安心して来てもらうために大変重要な課題です。

一方、復興支援のボランティア活動に多くの留学生が関わり、大学や教育機関だけではない学びの場を提供していることは、これまでの関係者の想像を超えた取り組みに発展してきています。

この 3 年間、厳しい環境を踏まえながら、当学会としても、効果的な留学 PR やより魅力ある留学受入プログラムの創出、様々な留学生支援の取り組み、教育機関卒業後のキャリア支援まで、オールジャパンとしての一貫した取り組みを議論し、一部の役割を果たしてきました。シンポジウムにおいて改めて大会テーマを論議しながら、ワークショップや研究発表等で、参加者の皆様にも取り組みや活動の成果を活発に交流していただけたらと思っております。

尚、今年の研究大会の日程が、例年の 8 月下旬～9 月上旬から 1 ヶ月ほど繰り上がった日程になりましたので、ご注意ください。さらに、仙台七夕まつり (8/6-8/8) と重なる日程になっておりますので、早めの大会申し込みと宿舎の予約確保を強くお奨めいたします。非会員の方もお願いいたします。奮ってご参集下さるようお願いいたします。

最後に、学会誌『留学生教育』への投稿を 4 月 1 日より受付を開始し、6 月 30 日が締め切りです。編集委員会によれば、論文の体裁が十分に整っていないことで掲載が見送られるケースが増えている、とのことですので、投稿規定を丁寧にお読みいただき、奮ってご投稿下さるようお願いいたします。

II. 留学生教育学会 2013 年度留学生担当教職員研究分科会の開催報告

宮崎悦子（金沢大学）

2014年3月7日～8日に留学生専門教育教職員研究分科会を京都大学国際交流セミナーハウス j-POD で開催し、7日は27名、8日は21名が出席した。7日は「多様化する留学生のニーズにどう応えるか」というテーマで、東北大学学生相談所の吉武清實氏による「多様化する留学生と相談・支援体制の構築～共生社会を目指して～」と、岡山大学国際センターの岡益巳氏による「留学生相談指導担当者を取り巻く環境の変化を視野に入れて」、『JAISE 留学生相談指導事例集』を活用した学内教職員向け研修のあり方—岡山大学における実践とその課題—という報告があった。

まず、吉武氏は、東北大学において相談に訪れる留学生の実人数が増加し、相談内容も多様化していると述べた。増加傾向にある相談は、「対人関係」「発達障害を背景とする躓きの相談」等であった。同氏は「多様なニーズ」の例として多言語対応や発達障害をあげ、日英語以外による外国語対応にチームアプローチで対応していること、発達障害の学生には「合理的配慮」という環境調整を、当事者とコミュニケーションをとりながら支援計画を作成して支援していると述べた。また、報告中、模擬事例その1「英語によるカウンセリング、スペイン語の通訳を確保しての対応」、その2「発達障害を持つ留学生への配慮・対応」を用いて、参加者の経験や意見を聞きながら解説も行った。

2016年、障害者への差別を解消するために、国公立の機関では「合理的配慮」の提供が義務化され、私立機関は努力義務が課せられる。「合理的配慮」の提供に必要な役割や機能の特定、それにもとづく学内資源の整備が求められるのはもちろんであるが、留学生への「合理的配慮」の共通認識や基準をどう作っていくかは大きな課題であろう。

岡氏は、留学生の相談ニーズ多様化の要因を、①「在籍形態・在籍身分の多様化」、②「在籍者数の増加」、③「受入れ環境の変化(制度の後退・改善+環境整備)」に分類した。②では、岡山大学で「語学力・学力・経済力」が十分ではない留学生を大量に受け入れた 2007 年頃に相談が

急増したため、2008年に「語学力の目安」を設けたそうである。目安設定後に留学生数は減少し相談も減ったため、現在の岡山大学では多様な留学生のニーズは存在しないとのことであった。岡氏がこの間の留学生の増減を振り返り、「留学生数の増加はその質の多様化をもたらした。学力・語学力・経済力が不十分な留学生が減ると相談も半減した。」とデータを示し結論付けたことは大変印象に残った。

二日目は5本の報告が行われた。紙面の制約上1つだけ紹介すると、野水会長による「留学生アルバイト雇用時の身元保証人要求の対応について」は、名古屋大学の留学生担当スタッフで分担して法的根拠の調査や、県労働局および留学生の採用実績のある企業への聞き取りを行い、生協学生賠償保険や名大における制度（留学生後援会）を利用して対応策を考えた報告であった。保証人のリスクを減らし、教員に条件を確認して判断させるといった名大の取り組みは大変参考になった。

本分科会に対しては、「温かく、自然体で議論できたいい会」、「どこも同じようなことで困っているが、担当者の横のつながりでアイデアが出てくるとも再確認できた」といった感想を参加者からいただくことができた。会場担当世話人の鈴木あるの氏には、木のぬくもりのある素敵な会場および素晴らしい懇親会場所を手配していただき、常にベストを尽くして快適な環境・状況を作っていたいただいたことに感謝申し上げる。

最後に、この場をお借りして呼びかけたいが、本分科会では来年の開催にむけて、会場と懇親会の手配をする「会場担当世話人」と、テーマと一緒に考え実施準備をする「運営担当世話人」を募集中である。経験と人脈が得られる楽しい仕事であり、貢献も記録に残すので、立候補する方、是非連絡くださいね！

[本分科会担当世話人]

miyaetsu@staff.kanazawa-u.ac.jp

(金沢大・宮崎)

suematsu@insc.tohoku.ac.jp (東北大・末松)

II. 第19回研究大会のお知らせ

第19回研究大会及び総会は、2014年8月8日（金）、9日（土）に開催いたします。皆様のご参加、ご発表をお待ちしております。

1) 研究大会スケジュール 【予定】

共催	留学生教育学会（JAISE） 東北大学
後援 (申請予定)	特定非営利活動法人 JAFSA（国際教育交流協議会） 公益社団法人東京都専修学校各種学校協会
会場	東北大学（宮城県仙台市）
テーマ	震災から新生へ：国際教育・交流で起こすイノベーション
日程	2014年8月8日（金） 13：00～ 開会式／奨励賞・功労賞授与式 13：30～ 〈第一部〉基調講演／パネルディスカッション 基調講演 東北大学 副理事／グローバルラーニングセンター長 山口昌弘 教授 文部科学省高等教育局（予定） グローバル人材戦略研究所／株式会社ジェイエース 小平達也 氏 パネルディスカッション 上記3名、一橋大学国際教育センター 太田 浩 教授 16：00～ 〈第二部〉テーマ別ワークショップ 教育の国際化／留学生支援／震災復興，防災，減災／キャリア支援，産業界との連携/ 日本語教育等，国際教育に係る上記各テーマでワークショップを実施 17：30～ 懇親会 2014年8月9日（土） 9：00～ JAISE 総会 9：30～ 一般研究発表 12：15～ 閉会式（～12：30）

※詳細なプログラムは次号 Newsletter 第44号（7月発行）および学会ホームページにてお知らせいたします。

2) 研究大会発表者の募集について

今年度研究大会での発表者を募集致します。発表希望者は、次の2点をご提出願います。

(ア) 第19回研究大会参加申込書

(イ) 発表要旨（発表希望者には提出要領をお送りいたします）

一般研究発表申込締切：7月10日（木）

3) 研究大会参加申し込み方法

参加ご希望の方は、『第19回研究大会参加申込用紙』にて、FAXまたはE-MAILでお申し込みください。

★参加費・支払方法（当日現金でお支払い願います）

参加費：会員無料（非会員：一般 2,000円 学生 1,000円）

懇親会費：一般 4,000円、学生 1,000円

4) 参加申し込み締切

7月10日（木） FAX：03-3378-9625 E-MAIL：jaise@tsk.or.jp

同時期に仙台七夕祭りが開催されますので（8/6-8 3日間）、宿泊を予定されている方はご自身で早めに手配される事をお勧めいたします。

II J A I S E奨励賞・功労賞・優秀論文賞について

2014年度J A I S E奨励賞及び功労賞を自薦・他薦問わず募集中です。
同封の募集要項及び申込書・ホームページをご確認のうえ、ご応募ください。

2014年度より創設された「優秀論文賞」については前年度学会誌に掲載された論文等の中から選定されます。受賞した方は、奨励賞・功労賞と同様に、研究大会にて表彰いたします。

III 学会誌『留学生教育』第19号の原稿受付中

学会誌『留学生教育』の原稿は、例年4月1日より6月30日まで受付しております。投稿をご希望の方は、ホームページにて詳細をご確認のうえ、ご投稿願います。

*第19号への掲載は、9月30日までに採用が確定した場合となります。

IV 事務局より

1) 年会費のご請求について

同封の請求書をご確認のうえ、6月30日(月)までにご入金ください。なお、本年4/30までに年会費をお振り込みいただいている会員の皆様につきましては、請求書を同封しておりません。

【新】年会費 2010年度以降	
一般	5,000円
学生	3,000円
機関・賛助	10,000円
海外	2,000円

※2年間未納の場合は、自動的に退会扱いとなります

2) 新入会員のお知らせ [2014年1月～入会順]

○一般会員 (敬称略)		川崎 義雄	学校法人東海学院
濱野 哲子	電気通信大学	松永 光代	奈良女子大学
八木健太郎	中央学院大学	○学生会員 (敬称略)	
カッティング美紀	立命館アジア太平洋大学	文 朱姫	名古屋大学
末繁 美和	北見工業大学	譚 君怡	東京大学
小林 文	昭和大学	呉 暁良	九州大学大学院
小川 正人	環太平洋大学		
黄 美 蘭	お茶の水女子大学大学院		

3) 会員数 (2014年5月1日現在)

一般 254、学生 48、海外 25、賛助・機関 21 計348